

【樹木の部屋】

シロバナエニシダ (マメ科エニシダ属 *Cytisus multiflorus*)

和名：シロバナエニシダ (白花金雀枝)

別名：

英名：White Spanish broom

マメ目 常緑低木

原産地：ヨーロッパ、北アフリカ、カナリア諸島



花言葉：

花の色：白

← 写真-1 シロバナエニシダの樹形

撮影日：2019年02月25日

撮影場所：ヴィラ・ヴィソーザ

(ポルトガル)にて

撮影者：M さん

↓ 写真-2、3 シロバナエニシダの花

撮影日：2019年02月25日

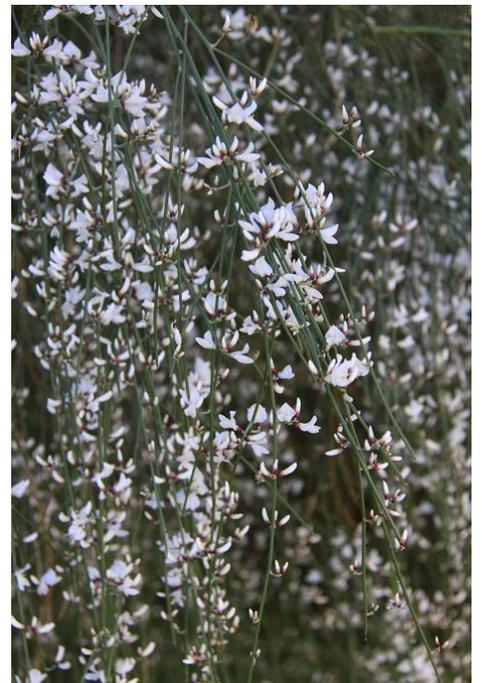
撮影場所：ヴィラ・ヴィソーザ

(ポルトガル)にて

撮影者：M さん

ポルト(ポルトガル北部の街)から大西洋岸を南下する際、幹線道路沿いに、黄色のエニシダやアカシアと混在する白い花を見かけました。遠目にはフジの花のようにも見えましたが・・・

偶然でしたが、ヴィラ・ヴィソーザ(アレンテージョ地方)の街散策中に見かけました。ヴィラ・ヴィソーザ城



の城門前の植え込みでした。当初、エニシダの仲間のようなだ・・程度で詳細は不明でした。帰国後、調べてみるとエニシダのシロバナ種でした。

樹形は株立ちで枝垂れます。葉は下部では三出複葉、上部では単葉で互生。5～6月に、前年枝の葉腋または頂生に総状花序につくか、束状に白い花を咲かせます。そして、マメ科植物に特有の典型的な蝶形花冠です。

剪定の時期は、花の咲いた直後が最適です。7月下旬にはすでに枝の中で翌年咲く花芽の準備が進行しているので、それ以降の剪定は花芽ごと枝を切り落とすこととなります。また、3月頃に長く伸びすぎた枝や枯れた枝を枝の付け根から切り取ると、新しい枝や若い枝の成長を促すことができます。幹の途中から不定芽と呼ばれる弱々しい枝が出ることがありますが、見つけ次第付け根から取り除くと良いそうです。

<ちょっと一言>

* 種子は有毒

* 同属には、代表的な黄色いエニシダ(金雀枝)や、それより小振りな花を咲かせるヒメエニシダ(姫金雀枝)、黄色に赤い暈しがあるホオベニエニシダ(頬金雀枝紅)、ピンクのものがあります。